



# 核エネルギー大国フランス 「統治」の視座から

セジン・トプシュ著 斎藤かぐみ訳 神里達博 解説

2019年6月下旬発売予定

A5判 284ページ

定価 本体 2,700円+税

ISBN 978-4-909819-05-5 C0036

「本書は世界最大の核利用国フランスにおける原子力とデモクラシーとのつながり、いやむしろ落差に関する論考である。」(「日本語版のための序章」より)

科学社会学者セジン・トプシュはフランス国立学術研究センター研究員。本書の原著書は、2011年3月以前に完成していた論文に福島第一原発事故を受けて加筆し、2013年に出版された。日本語版では、斎藤かぐみのキレのいい訳文に、科学技術社会論の神里達博による解説を添え、核に対峙し思考することを日本人に訴える。

【目次】 日本語版のための序章

フランスから日本へ、日本からフランスへ——  
福島後の核関連物質リスクとその統治

第1部 1970年代の強硬な核事業——  
抗議活動を意に介さない国威発揚

第2部 チェルノブイリに続く10年間——  
専門評価と透明化へ、誘導された批判活動

第3部 1990年代以降——  
「参加」と「エコロジー主義」の至上命令

【著者】セジン・トプシュ (Sezin Topçu) : 科学史家・科学社会学者、国立学術研究センター (CNRS) 研究員、社会科学高等研究院 (EHESS) マルセル・モース研究所社会運動研究センター所員。ボスポラス大学卒業後、ストラスブール大学を経て、社会科学高等研究院 (EHESS) で博士号取得。技術分野・医療分野におけるイノベーションの諸々の統治形態を研究テーマとする。



本書は世界最大の核利用国フランスにおける原子力とデモクラシーとのつながり、いやむしろ落差に関する論考である。フランスの核事業複合体に対する公共的・社会的な批判活動、その変遷、高揚と低迷、再起を扱い、それが過去数十年にわたり事業者・国家・規制機関に対して、どのような問題を提起したかも視野に入れている。(「日本語版のための序章」より)

ご注文は JRC へ FAX 03-3294-2177

- すべての取次への出荷が可能です。
- 返品は常時お受けいたします(了解者: JRC 後藤)

貴店番線印	注文数	発行 エディション・エフ info@editionf.jp	返品条件付き注文扱い
		核エネルギー大国フランス 「統治」の視座から セジン・トプシュ著 斎藤かぐみ訳	
ご担当: 様	冊	定価 本体 2,700円+税 ISBN978-4-909819-05-5 C0036	
		(株)JRC TEL 03-5283-2230 FAX 03-3294-2177	